

# 5年(下)第8回 例題の解説

## 例題5

100g 800円のお茶Aと300g 2000円のお茶Bをそれぞれ何gか混ぜて、200g 1500円のお茶Cを作ります。お茶Cを200g作るには、お茶A、Bをそれぞれ何g混ぜればよいですか。

AとBの1gあたりの値段を出します。

100g 800円より

1g  $800 \div 100 = 8$  (円) ..... A

300g 2000円より

1g  $2000 \div 300 = \frac{20}{3}$  (円) ..... B

AとBを合わせて200gで1500円になるようなお茶Cを作ります。

200g全部、お茶Bを買ったとするとその代金は

$$\frac{20}{3} \times 200 = \frac{4000}{3}$$

○ 実際との差は

$$1500 - \frac{4000}{3} = \frac{500}{3} \text{ (円)}$$

○ 1gあたりの値段の差は

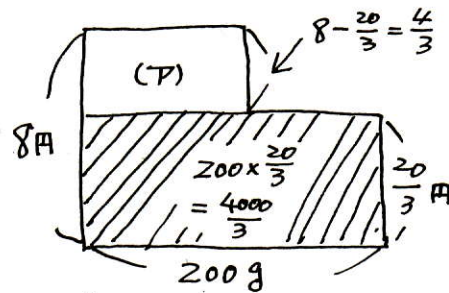
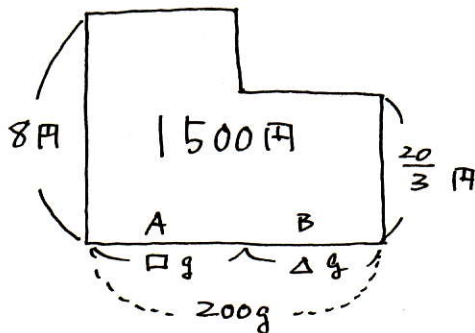
$$8 - \frac{20}{3} = \frac{4}{3} \text{ (円)}$$

$$\frac{500}{3} \div \frac{4}{3} = 125 \text{ (g)} \text{ ..... A}$$

$$200 - 125 = 75 \text{ (g)} \text{ ..... B}$$

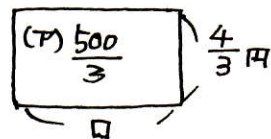
A-125g, B-75g

このように面積図で解くこともできる。



(P)の面積は

$$1500 - \frac{4000}{3} = \frac{500}{3}$$



$$\square = \frac{500}{3} \div \frac{4}{3}$$

$$= 125 \text{ (g)} \text{ ..... A}$$

$$200 - 125 = 75 \text{ (g)} \text{ ..... B}$$